

# ぼうさい〈ダ・ズ・ン〉(天ぷら油火災編) 使い方

## 1. 用意するもの

- ①「シナリオ」プリント 各自に1枚
- ②「お母さんのとるべき行動」プリント 各自に1枚
- ③「記録表」プリント 各自に1枚
- ④「話し合いについて」プリント 各自に1枚 (または全体で大きなもの1枚)
- ⑤「結果分析表」を大きく書いた模造紙1枚、または同じものを板書できる黒板(ホワイトボード) (「時間短縮コース」、および「標準コース」(後述) の場合は省略可能です。)
- ⑥「正解」プリント 各自に1枚
- ⑦「対応診断表」プリント 各自に1枚 (または全体で1枚)

## 2. 実施人数および時間、会場

### ①実施人数

1 グループ5人から8人くらい。6人くらいが最適です。グループ数は多くても実施可能です。

(最大300人程度でも実施可能です。この場合は、結果分析表をみんなで見る事ができないので、結果分析表を次の回にプリントして配布するなどの工夫がいらします。)

### ②実施時間

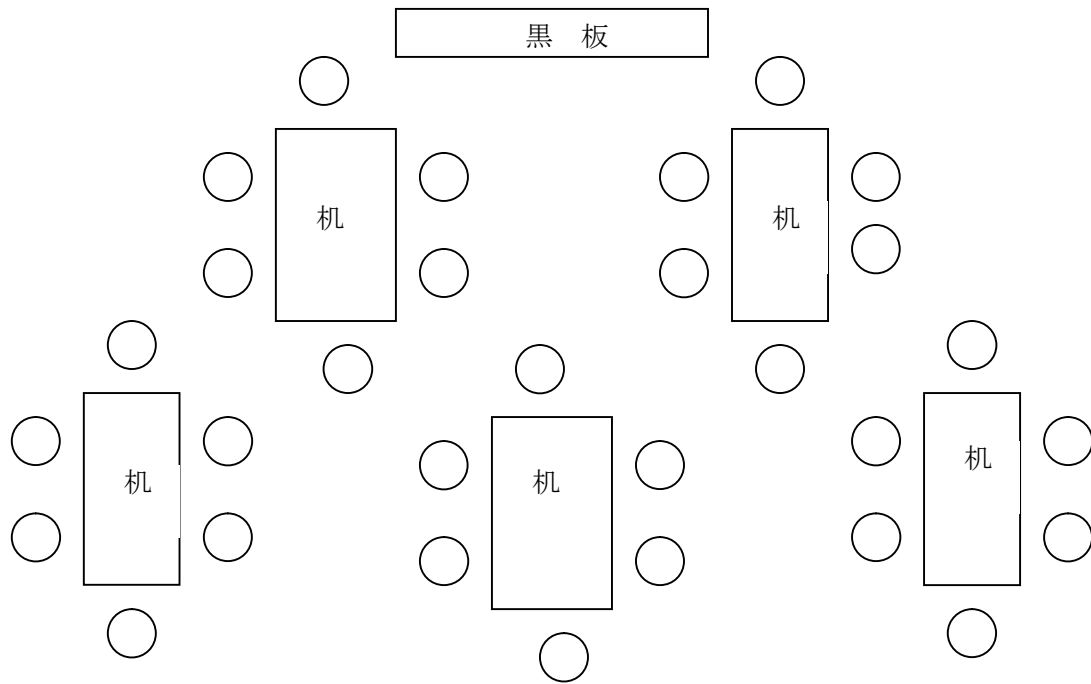
- 1) 個人決定 15分 (5分程度まで短縮可能)
- 2) グループ決定 60分 (40分程度まで短縮可能)
- 3) 解説とふりかえり 10分から30分

注) 最短で1時間、できれば1時間半程度あるのが望ましいです。

最短の場合(「時間短縮コース」)、解説とふりかえりの部分を短くします。逆に「標準コース」や、「フルコース」(最長)の場合は、ふりかえりの部分を長くします。末尾の一覧表を参照してください。

### ③会場

- 1) 5人から8人のグループで話し合いのできる机と椅子。グループ同士の話し合いの音がじゃまにならない程度に離れていることが望ましいです。
- 2) 結果分析表を書いた模造紙を貼る壁か、黒板があることが望ましい。



会場のレイアウト例

### 3. 進行役の手順

①個人の決定：まず、個人で決定してもらいます。

1) このとき、すでに机を囲んでいても、あるいは別々に座っていてもどちらでも OK です。

2) 1人に1枚ずつ、「シナリオ」プリントと、「お母さんのとるべき行動」プリントを渡します。

「シナリオ」は、自分で読んでもらってもいいですが、進行役が読み上げてもいいでしょう。

3) 個人決定にかけてもらう時間は15分。

ただし、様子を見て、早く決まっているようであれば、時間を短縮します。

②グループの決定：グループで決定してもらいます。話し合いの仕方はいろいろですが、添付の「記録表」を使うと、次のような手順で話し合いをすることができます。

- 1) 「記録表」プリントを1人に1枚ずつ配ります。
- 2) グループでお互いの決定を写しあってもらいます。「自分」の欄に自分の順位を、「メンバー」のところに、メンバーの名前を入れてもらいます。  
\*この時はじめてグループをつくって座る場合には、写しながら、お互いに自己紹介をしてもらうのもひとつの方法です。
- 3) 「話し合いについて」のプリントを各自に1枚ずつ配るか、この内容を黒板に書かして、進行役が読み上げます。これは、できるだけみんなが納得できるように話し合いをするための心がけを書いたものです。
- 4) グループでの話し合いを60分やってもらうことを、進行役が宣言します。  
ただし、進行状況によって、話し合いの時間を短くしたり長くしたりすることができます。
- 5) グループの決定は、「記録表」の「グループの決定」欄に記入してもらいます。

③正解の発表：正解の発表をします。

- 1) 全グループの話し合いが終わったら、正解を発表します。「正解」プリントを1人1枚ずつ配り、「解説」プリントを元に解説をします。

④誤差の計算（「時間短縮コース」（時間がないとき）の場合は、省略が可能です。）

- 1) 1人1人で誤差の計算をします。誤差は、正解との差を求めて計算します。このとき注意するのは、プラスやマイナスの符号は無視するということです。すなわち、誤差の絶対値を求めることになります。1人1人の「誤差」の欄に誤差を記入し、一番下の行に合計を書きます。
- 2) 個人で誤差の合計をしたら、グループの決定の誤差を求め、これも合計しておきます。
- 3) この後、参加者の感想や、意見を聞くとよいでしょう。「対応診断表」プリントをここで配って、話し合いの手がかりとすることもできます。

④' 「結果分析表」の使い方（「標準コース」の場合は省略可能です）

- 1) グループ決定の誤差を計算したら、結果分析表を書くこともできます。  
結果分析表を使うことによって、「話し合いの効果」が実感できます。
- 2) 結果分析表をもとに、話し合いの過程をふりかえります。

ゲームの流れ(3通りの使い方があります)

時間短縮      標準      フル  
コース      コース      コース

